

令和2年7月28日から29日発生

「山形豪雨」被災地支援について

- 「山形豪雨」の被災地に、本市の職員を派遣します。
- 派遣先は、津谷地域振興会と震災前から交流のあった、山形県尾花沢市に応援給水を行います。
- 派遣期間は、令和2年7月31日（金）からとなります。
- 派遣期間は、7月31日（金）からですが終了は現段階では決まっておりません。
- 本市職員の活動内容は、市営住宅地（予定）での給水活動です。
- また、津谷地域振興会では、有志がペットボトル入り飲料水（2リットル）1,000本（本市備蓄から）を7月31日朝発で現地にお届けする予定です。

【概要】

1. 市による給水活動

（1）派遣する職員

ガス水道部職員2名を派遣します。

〔令和2年7月31日（金）から2泊3日〕

- ・ 小松 和保（ガス水道部工務課 技術補佐兼給水装置係長）
- ・ 佐藤 正志（ガス水道部施設整備課 技術主幹）

（2）派遣予定期間

令和2年7月31日（金）から

※7月31日（金）の早朝に出発し、午前10時頃から尾花沢市役所で打合せ後、市営住宅地（予定）で給水活動を開始します。

（3）出発

日時：令和2年7月31日（金）午前6時00分頃出発予定

場所：ガス水道部水道事務所

時間が早朝のため、出発式は行いません。

（4）その他

今回の被災地派遣は、日本水道協会宮城県支部からの要請ではなく、津谷地域振興会と震災の前から継続して交流し、友好団体としていることから、応援給水のため被災地派遣をするものです。

2. 物資提供

津谷地域の有志が本市備蓄のペットボトル入り飲料水（2リットル）1,000本を持参し、現地で提供いたします。出発は7月31日（金）朝を予定しています。